

新規 埼玉県災害時学校支援チーム(D-EST埼玉)について (埼玉県)

1. チームの概要

埼玉県では、能登半島地震の際、石川県教育委員会からの要請を受け、中学生が二次避難を行った白山市内や金沢市内の二次避難施設へ学習指導等の支援を目的として、指導主事や養護教諭を派遣。

本派遣は、学校再開後の学習指導等が主な活動であったこと、また、本県は大規模災害による被災経験が少なく、学校再開に向けた被災地支援のノウハウがないことから、まずは、チーム設置に向け、被災地支援や学校支援チーム設置の意義等について、管理職及び教職員の意識を醸成の上、被災地支援に関する教職員の知見等を養成し、令和7年10月にD-EST埼玉として、学校支援チームを設置(設置時点チーム員数:30名)。

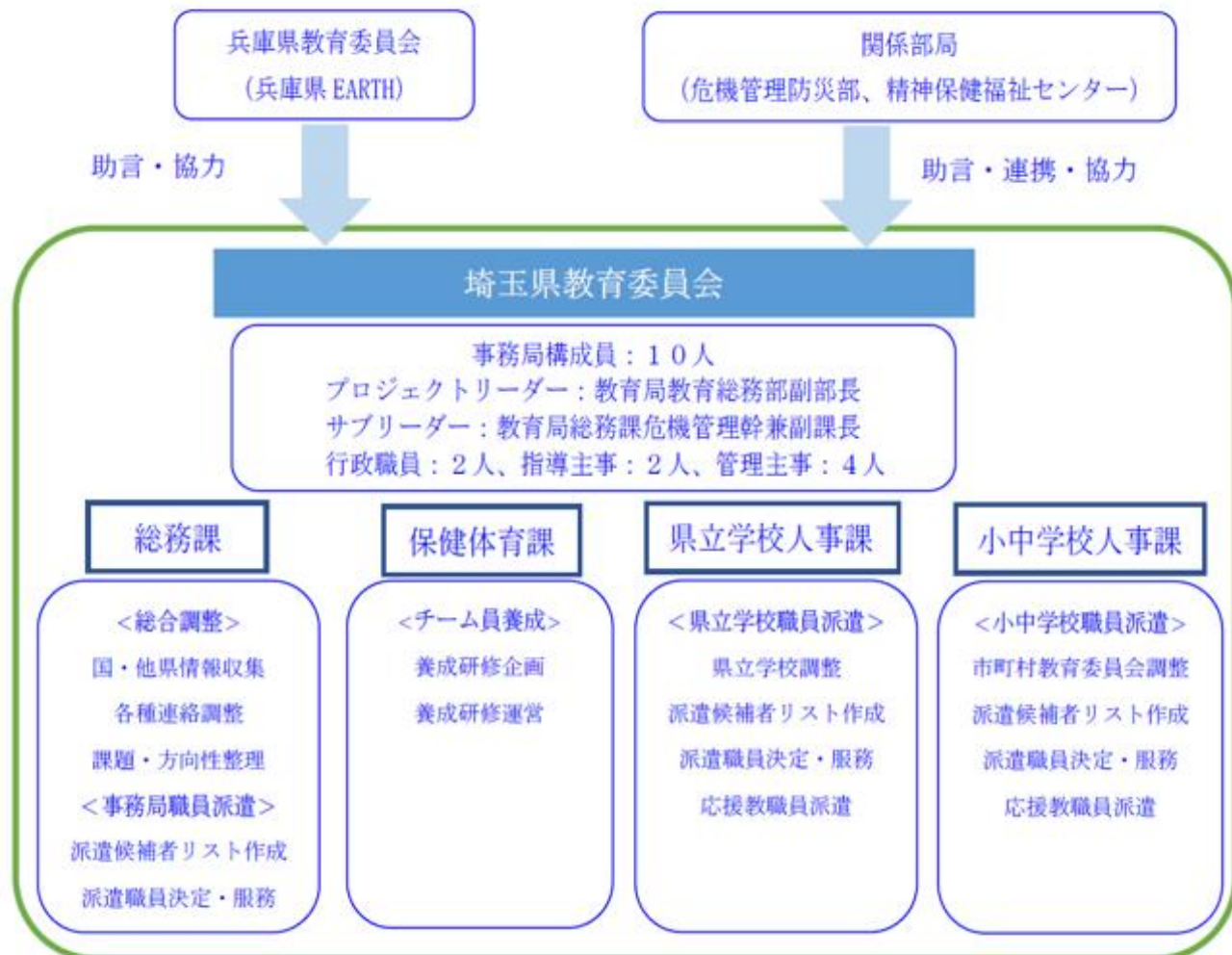
2. 組織構成

<チーム員構成内訳>

主幹教諭2人、教諭15人、養護教諭3人、事務職員3人、行政職員7人

※本県では、チーム員募集に当たり、職種を教員に限定することなく、**公募**を実施

<学校支援チーム設置に向けた事務局体制>



3. 養成方法、周知・還元方法等

<事前周知>

D-ESTの意義及びチーム員募集について、各種会議にて市町村教育委員会教育長、県立学校長等へ説明

・都市・町村教育長協議会、高等学校長協会理事会 等

<養成研修内容> ※第1回~第3回(3日間実施 ①~③)

兵庫県EARTH員をはじめ、県公認心理師協会や大学教授、県危機管理防災部等の協力を得て研修実施。

- ①・D-ESTの実際
 - ・基本的な支援の考え方(スフィア基準)
 - ・災害の基礎知識
- ②・災害ボランティア基礎知識
 - ・学校教育応急対策
 - ・心のケア基礎知識
- ③・心のケア演習
 - ・防災体験学習
 - ・被災した学校における教育活動
 - ・早期再開に向けた演習(ロードマップづくり)



<広報関係>

広報誌「県教委だより」への掲載、県HP作成、SNSの活用による周知(X, Instagram, Facebook)

<研修受講後のチーム員の取組>

・研修内容の職員間共有、マニュアルや防災訓練の見直し等

4. 今後の展開

- ・チーム員数150人規模を目標として、継続して公募を実施
- ・チーム員2年目以降を対象としたスキルアップ研修の実施検討
- ・チーム員携行用ハンドブックの作成